



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その94 谷口吉生特集 4

金沢市の「金沢建築館」です。谷口吉生氏設計で2019年に開館しました。場所は、吉生氏の父親である建築家谷口吉郎の自宅跡地であり、金沢市の名誉市民第一号であった吉郎氏を顕彰するとともに、吉生氏の作品を紹介する企画展も開催されます。常設展示は、吉郎氏設計の迎賓館赤坂離宮にあった茶室「游心亭」が空中の水庭と対峙して再現されています。

CURRENTLY WORKS



調剤薬局の新築デザイン3 …市販薬販売ゾーンのデザイン

調剤薬局では処方箋に基づく調剤が基本ですが、市販薬やサプリメントの販売も重要です。ここでは待合の椅子の正面に、間接照明を仕込んだ連続アーチ型を設置し、その中にモニターと商品陳列を組み込みました。患者さんの視線が向きやすい場所に販売商品をディスプレイすることで購買意欲を刺激し、売上向上につながるよう意図してデザインしました。

PRIVATE TOPICS



太田のアート探訪記 その22

「金沢21世紀美術館」の評判作品「スイミングプール」…それと同じ作家、レアンドロ・エルリッヒによる「無限の階段」という作品です。21世紀美術館すぐ近くの「KAMU」という施設に収蔵されています。横に倒された螺旋状の階段が両端の合わせ鏡に映り込み、どこまでも続きます。映り込む自身の姿とともに、異世界感を醸し出しています。

EDITORIAL NOTE

5月の晴れた日を「五月晴れ（さつきばれ）」と言うことがありますが、実は旧暦の五月の雨、つまり「梅雨」の合間の晴天を現わす言葉です。同様に「五月雨（さみだれ）」も「梅雨」に降る雨そのものです。理屈ではそうだとわかっていますが、なかなか身に付かず、つい5月に使ってしまいそうですが…

編集担当：太田・藤原、監修：岡島